



9/18, 24 ねん 4年 ふくしでまえじゅぎょう 福祉出前授業

4年生は2学期の総合的な学習で、さまざまな人との出会い学習をしています。

9/18はSSピンポン 9/24は点字体験をしました。

SSピンポンは障がいの有無にかかわらず、だれでも楽しめる三重県で考案されたニュースポーツです。鈴の入った卓球ボールを使い、卓球台の上を転がして試合をします。講師としてサウンドテーブルテニスの競技者である黒田智子さんをお迎えしました。黒田さんからSSピンポンとの出会いや視覚障がいのある方とのコミュニケーションの取り方なども教えていただきました。その後、SSピンポンのルールを説明していただき、代表の児童と先生が黒田さんと対戦しました。まずは口じゃんけんでサーブを決め、ゲームスタート。サーブを打つときも「いきます！」と宣言し、相手が「はい！」と答えてから始めます。黒田さんが球をうつと予想以上に速く、子どもたちはびっくりしていました。そして、全員でSSピンポンを楽しみました。



点字体験では点訳グループ「ともしび」の方に来ていただき、生活の中でどんなところに点字があるかを教えていただきました。そして、実際にひとりひとり、点字機を使って、ひらがな表や自分の名前をうってみました。点字をうつにはとても力がいり、作業の大変さを知りました。それと同時に自分たちが当たり前に行っていることでも視覚障がいのある方にとっては困ることがたくさんあり、点字によってそのことが減っていくことも知りました。すこしの工夫やアイデアでだれもが暮らしやすい社会になっていくことを知り、自分たちにもできることはないか考えるきっかけになるとうれしかったです。



生活の中にある点字
なんて書いてあるのかな？